

# 「認定農業者」のみなさん、 農業経営の自己分析を行っていますか？



農林水産省では、だれでも経営分析（自己チェック）ができる「経営改善実践システム」をインターネット上で公開しています。

- 一年に一回、パソコンを使って自己チェックを行い、農業所得の向上などの経営改善を図りましょう。  
(利用するにあたっては、あらかじめ利用者登録が必要となります。)
- パソコンが使えないか、インターネットに接続できない場合は、印刷物を利用して自己チェックを行うこともできます。

☆詳しくは、「農業経営指標」で検索するか、農業委員会のホームページをご覧ください。  
(または事務局へお問い合わせください。)

## 『アグリランドバンク(新規就農者支援型)』が 新規就農者の農地の確保をサポートします。

- 対象者は、親元就農者を除く認定新規就農者(※)です。  
(※認定新規就農者とは、営農計画を作成し市の認定を受けた新規就農者です。)
- 事前に、支援農業者(協力農業者)との面談が必要です。話がまとまれば、農地の貸付けへと手続きを進めていきます。

この事業に協力をいただいている支援農業者です。(農地の貸付けに協力してくださる農業者・2月末現在、敬称略)

- (有)鶴岡協同ファーム(鶴岡・民田)
- (株)アシスト(鶴岡・本田)
- (有)田和楽(藤島・小中島)
- 上新田農事組合法人(藤島・長沼)
- 井上農場 代表・井上 馨(藤島・渡前)
- (株)ハグロファーム(羽黒・川代)
- (農)あさひの輝き・まんてん(朝日・東岩本)
- (株)あつみ農地保全組合(温海・湯温海)

詳しくは事務局へお問い合わせください。(ホームページでも公開しています。)

(農業委員 太田 裕徳)

農業の将来が不安視される中、稲作での低コスト省力化として「鉄コーティング」、「モリブデン」、「密苗栽培」、「粗植栽培」、「乾田直播」等、様々な取り組みがなされていますが、大小問わず各地の様々な経営体それぞれがそれぞれの経営体に入る技術を取り入れ、協調しながら地域を支える仕組みを確立し、いつまでも自然豊かな庄内平野の農地が守られていくことを望む今日この頃です。

あ  
と  
が  
き



### 全国農業新聞を 購読しませんか

暮らしと経営に役立つ農業情報を  
週一回お届けします。

**購読料 1ヶ月700円(税込)**

◎購読のお申し込みは  
農業委員会事務局または各分室へ

- 鶴岡分室 25-2111 (代表)
- 櫛引分室 57-2114
- 羽黒分室 62-2111 (代表)
- 朝日分室 53-2111 (代表)
- 温海分室 43-4616

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 鶴岡市藤島字笹花25(藤島庁舎内) ☎64-5868(直) FAX.64-5846  
http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouinaki/index.html